

平成25年7月21日執行

# 参議院埼玉県選出議員選挙公報

埼玉県選挙管理委員会

古川俊治 ふるかわ としはる



古川俊治 ふるかわ としはるのくにづくり

## PROFILE

- ◆昭和38年1月14日。さいたま市岩槻区(旧岩槻市)生まれ。
- ◆開成中学・高校、慶応義塾大学医学部(昭和62年)・文学部(平成5年)・法学部(平成8年)卒業(病院勤務の傍ら、通信教育課程で社会学、法学を学ぶ)、オックスフォード大学大学院修了(MBA)(平成17年)。
- ◆医師(昭和62年)、博士(医学)(平成6年)、弁護士(平成11年)。慶応義塾大学法科大学院教授・医学部外科教授(兼任)(平成19年～現在)。
- ◆平成19年 第21回参議院通常選挙で埼玉県選挙区において当選。医療、法律、経済・財政の専門家の見地から積極的な政策提言を行っている。

## ①新産業創出による経済の再興

- 再生医療技術などの先端医療技術や革新的エネルギーの研究・開発の促進により、新産業と雇用を創出します。
- 地域産業のものづくり技術を活用した新事業開発の支援や、地域特産品の海外販路の開拓などにより、地域産業を振興します。
- 日本近海の海洋資源開発を推進し、資源大国への転換を図ります。

## ②健康で豊かな生活の実現

- 安定的な社会保障の財源を確保し、国民皆保険制度を堅持するとともに、持続可能な医療・介護・年金制度への改革を進めます。
- 高齢化社会に向けて必要なマンパワーと施設・設備を確保し、地域医療・介護の充実を図ります。
- ワクチン開発や検診システムの充実など、予防医学を強化し、高齢者雇用を推進することにより、いつまでも元気で活躍できる社会を実現します。
- 待機児童解消、保育所機能の充実、働く女性への子育て支援など生活者の視点に立った少子化対策を充実します。

## ③被災地復興の推進

- 復興計画を総点検した上で復興に必要な財源とマンパワーを確保するとともに、復興予算の柔軟な運用により、復興事業を進めます。
- 除染技術を確立して着実に実施するとともに、放射性物質のモニタリング調査や住民の健康診断を推進します。

## ④財政再建

- 徹底した無駄の排除と行政改革、経済成長を図ることにより、国民負担を最小限に抑えた無理のない財政再建を実現します。

## ⑤世界で活躍できる日本人の育成

- すべての子供に基礎的学力を確実に身につかせ、世界で活躍できる人材を育成するため、外国語や理数系科目の教育を強化するなど、教育の質と量を見直します。
- 日本の大学の研究・教育を世界トップレベルに引き上げるため、大学の国際化を推進します。

## ⑥国益の保持と防災の強化

- テロや北朝鮮の核開発など我が国や世界の平和と安全への脅威に対しては、国際社会とも協調しつつ、断固たる対応を貫きます。
- 日米関係を基軸としつつ、アジア・オセアニア諸国との経済・防衛両面における連携を推進します。
- 首都直下型地震等の大災害に備え、事前防災・減災対策を進めます。

## ⑦農畜水産業の振興

- 地産地消と結びつけた食育の推進、我が国の安全で高品質な農産物等の海外販路の開拓などにより、農畜水産業の振興を図ります。
- 食物や水産物の健康効果を活用した農商工連携による新しい産業を育成します。

## ⑧政治改革

- 議員定数の削減、選挙制度の抜本的見直しを進めます。

古川俊治 検索 [www.toshiharu-furukawa.jp](http://www.toshiharu-furukawa.jp)



自民党  
**古川俊治**  
としはる

日本の未来に  
全力投球!!



共生社会を  
つくりまします。

生活者の声を国政に届けます!  
ジャスト 庶民派

# 山根りゅうじ 政策6



民主党公認  
**山根**  
りゅうじ

- 1 雇用と福祉が最優先!**  
「働くこと」を軸とする安心社会で日本を元気に。中小・小規模企業の潜在力を引き出す、きめ細かい支援を推進。  
若者が安心して結婚生活をはじめられる社会に。非正規労働者で希望する人には正社員化への道を確かなものに。  
当事者の声を大切に、障がい者施策を着実に推進。
- 2 子どもは日本の宝!**  
保育所・放課後児童クラブに安心して入れる体制を整備します。  
どの子にも同じ学びのチャンスを提供する制度を充実させます。
- 3 医療の安心を埼玉こそ!**  
全国一お医者さんが少ない埼玉の問題を解決。在宅医療の充実と介護の連携で、地域で暮らし続けられる環境を。  
西洋医学と東洋医学を融合させた統合医療の推進。
- 4 一人ひとりを大切に  
絆のある安心な社会に!**  
自立不安をサポートする仕組みを充実させます。孤立化しないための安心の地域の支え合いを応援します。  
養育費の支払いを義務付ける制度づくりに取り組まします。
- 5 したたかな外交・防衛で  
日本を守る!**  
ケンカ腰外交は日本を孤立させ国益を損なわせます。いねいでしたたかな戦略の下、国際社会との連携強化で、北朝鮮の拉致・核問題、領土問題を進展させます。  
災害・環境・新エネルギー・サイバーテロ対策で、世界に向け主導的役割を発揮。
- 6 あの日の忘れない。**  
東日本大震災の被災地の日も早い復興と被災者支援に全力で取り組みます。

## 山根りゅうじプロフィール

昭和23年3月8日生まれ 元外務副大臣。  
川越市議会議員4期、埼玉県議会議員2期。  
参議院議員2期目。  
経済産業委員会委員長、党筆頭副幹事長、  
党企業団体対策委員長、党政策調査会副会長、  
埼玉県連代表を歴任。  
<趣味>読書・テニス・カラオケ  
<家族>妻・一男一女・孫がふたり

# 比例も社民党

## プロフィール

1964年12月生まれ。県立川口北高校、早稲田大学社会科学部を卒業。淑徳大学大学院国際経営・文化研究科修士課程修了。東急ホーム(株)勤務を経て国会議員公設秘書を約20年務めるとともに早大ソフトウェア戦略客員研究員として国際問題研究にも従事。現在、キリスト者政治連盟常任委員、2012年度NCC(日本キリスト教協議会)平和・核問題委員会書記。家族は妻と両親。尊敬する人は内村鑑三と土井たか子。

## 応援します!

社会民主党党首・参議院議員	福島 みずほ
元衆議院議員	日森 ふみひろ
埼玉県議会議員・元岩槻市長	佐藤 征治郎
埼玉大学名誉教授	小山 博也
キリスト者政治連盟委員長	坂内 義子

Twitter も Facebook も [川上やすまさ](#) 検索

## TPP

アメリカ主導のTPP参加断固反対!  
ISD条項は日本の国家主権を脅かす

## 税

消費増税の撤回 不公平税制の是正  
低所得者に負担の大きい消費税は撤回

## 脱原発

被災地の復興と補償を第一に  
原発再稼働No! 原発ゼロ社会の実現を  
子ども・被災者支援法の早期実施を

## 雇用労働

経済再生は雇用の立て直しから  
たてなおします。くらしと雇用

## 憲法

アメリカの言いなりに戦争はしない  
ゆずりません 平和憲法!  
国民の権利と自由を奪う改憲は許さない

# 戦争の できる国に しない!

安倍政権がたくらむ平和憲法の改悪を何が何でも許しません。社民党こそ「暴走内閣」にブレーキをかけることのできる存在です。  
また消費税の増税は庶民の生活破壊に直結する問題です。撤回を求めるとともに、大企業や富裕層への課税で財源を確保します。  
脱原発へのエネルギー政策の転換を求め、福祉の切捨て、年金の減額、生活保護制度の改悪、正社員リストラのための解雇ルールづくりに断固反対していきます。  
生涯安心して暮らせる共生の社会の実現こそ政治の使命です。



やすまさ  
**川上**  
やすまさ 48才  
社民党公認

選挙区選挙は、  
候補者氏名を書いて投票します。  
投票用紙は、薄い黄色です。

# 7月21日(日)は投票日

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会

平成25年7月21日執行

# 参議院埼玉県選出議員選挙公報

埼玉県選挙管理委員会

## 民間出身だから 分かることがある。

民間企業を数社経験しており、政治の道を志すため退職し、昼夜にわたり勉強を続けております。  
一民間人だからこそ分かる社会に鬱積した思いを晴らすため、埼玉県から、政治活動を通して、日本を変えていきたいと考えております。  
どうか皆様のご理解と熱いご支援を、心よりお願い申し上げます。

**経歴** 昭和32年大阪府生まれ 56歳  
●埼玉県で20年以上暮らし、現在はさいたま市見沼区に在住。  
●情報関連企業でビジネス管理を手がける。  
●家族は、妻、長男(24歳)、長女(21歳)

## 埼玉から、変える。日本を、変える。



埼玉の未来を創る会  
**みやなが**  
照彦 (56歳)

### 1 終わらない被災地復興支援

- 被災地の農林水産業の復興を実現します
- 復興予算を適正化し、被災地復興を加速します
- 被災地の中小企業のサポート体制を充実させます

### 2 安心の社会保障

- 年金制度を抜本的に改革し、世代間格差を是正します
- 介護従事者の待遇を改善し、介護サービスの質を改善します
- 予防医療により、医療費の国民負担を抑制します

### 3 埼玉から変わる日本

- 圏央道の開通を早期に実現します
- 過疎化対策として税制優遇により企業誘致を進めます
- 安全のためすべての駅ホームにフェンスを設置します
- 保育所設立のための規制緩和を推進します

### 4 平和につながる憲法改正

- 平和と国民生活の充実につながるための憲法草案を作成します
- 平和主義を尊重しつつ、国防軍の保持を検討します

# こうだ邦子

行田邦子

## 改革、前へ前へ!

みんなの党



既成政党ではできない改革があります。こうだ邦子は、改革の原動力になります。

- 消費増税の前に、行政改革、公務員制度改革、国会議員自ら身を切る改革を!
- 電力自由化で、原発ゼロと経済成長を両立させる!
- 女性の力を活かして、日本を元気に! 働き方改革と待機児童の解消を!
- 国民共有の財産として、水資源・森林資源、領土・領海を守る!
- 埼玉のことは、埼玉で決める! 地域主権改革を前へ前へ!

### これまでの主な実績

- 外資・外国人による水源地・森林買収への対応として、森林の土地取得の届出制を導入。
- 行政のムダを省くための「行政改革実行法案」を、与党の議員立法として国会に提出。
- 与党ワーキングチーム副座長として、公務員宿舎削減を政府に前倒しさせる。
- 東日本大震災復興特区制度の創設、地籍調査の国による代行、復興予算流用禁止の緊急提言など。
- 寄居・上里スマートインターチェンジの連結許可の取得。
- さいたま市「次世代自動車・スマートエネルギー特区」指定を後押し。
- 上尾道路の事業化、久喜市の液化化対策、お茶の放射性物質対策などを推進。
- 1票の格差を緊急的に是正する「18増23減」案の法案提出者となって、5月17日、今通常国会に提出。

### 行田 邦子 (こうだくにこ) プロフィール

- 1965年9月8日、岩手県遠野市に生まれる
- 東京下町の小さな工務店で、住み込みの職人さんたちに囲まれて育つ
- ICU 国際基督教大学卒業 (写真部部長、ロックバンドのドラム担当)
- 電通など民間企業に18年間勤務 (2度の転職や契約社員を経験)
- 2007年7月、参議院選挙 (埼玉県選挙区) で初当選
- 現在、みんなの党 参議院議員、埼玉県武術太極拳連盟副会長

趣味：プロレス、料理 好きなもの：焼き鳥を食べながら飲む日本酒 会社員の夫とともにさいたま市浦和区に在住。電車で国会に通勤中!

みんなの党 公認  
**邦子**  
こうだ  
行田  
邦子

代表は 比例 日本共産党

**埼玉から**

世論は、憲法9条改定にも消費税増税にも反対が多数

**憲法9条改正**

反対...50.4%  
賛成...33.5%

※「共同」の世論調査(6月24日付「埼玉新聞」掲載)

**消費税増税**

反対...67%  
賛成...28%

※「朝日」の世論調査(6月24日付)

と書いて投票してください

## 安倍政権の暴走政治に立ちむかいます 憲法とくらしを守り、原発ゼロを実現する議席を



日本共産党  
**伊藤 岳**  
いとう がく 53歳

憲法、アベノミクス、原発、TPPなど、あらゆる分野で危険な暴走を始めた安倍政権にストップをかけ、国民の願いにこたえる抜本的対策を示しているのが日本共産党です。

東京都議選では、自民党政治を変えたいという願いを託していただき、日本共産党の議席が倍増しました。いよいよ、参議院選挙です。

暴走する自民党と、これを許さず国民の願いにこたえる日本共産党との「自共対決」の選挙です。

埼玉選挙区で、「憲法をまもり、くらしに生かす議席」原発ゼロの議席を、私・伊藤岳にお寄せ下さい。

伊藤岳の5つの改革提言

- 消費増税は中止を**  
大企業の内部留保の一部を賃上げと雇用にあわせ、所得を増やして景気回復を
- 社会保障を再生し、充実を**  
年金・介護の切りすてを許しません  
●保育園と特養ホームの待機児童(者)ゼロ  
●医師不足解消へ、県立大学に医学部を
- 即時「原発ゼロ」の決断を**  
原発の輸出は許しません。再生可能エネルギーに大胆に転換を
- TPP交渉参加撤回を**  
農業の再生と食糧主権、経済主権の確立を
- 憲法9条による平和外交を**  
96条の改憲に反対し、立憲主義をまもります

1960年川口市生まれ、朝加市立中央中学校、県立坂ヶ谷高校、文教大学卒業、民主青年同盟埼玉県委員長、さいたま市副委員長など歴任。現在、党常任委員、県民運動委員長、「原発ゼロ」ツイッターを連発中。

twitter @gaku\_ito 伊藤 岳 検索

選挙区選挙は、候補者氏名を書いて投票します。投票用紙は、薄い黄色です。

# 7月21日(日)は投票日

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会

平成25年7月21日執行

# 参議院埼玉県選出議員選挙公報

埼玉県選挙管理委員会

## 谷井みほは3つの挑戦で、埼玉をもっと元気にします。

国防強化!  
消費増税中止!  
教育改革!

比例は 略称:幸福

# 「幸福」

とお書きください



幸福実現党  
谷井みほ

- 1 愛しているなら国を守ろう
  - 憲法9条を改正し、隣国の脅威から日本を守ります。
  - 日米同盟を基軸としつつ、自主防衛力の強化に取り組みます。
- 2 消費増税中止で、もっと強い経済へ
  - 消費増税を中止して、200兆円大開発投資により、高度成長に導きます。
  - 法人税の大幅減税で企業を元気にし、働き口と収入を増やします。
- 3 安心して子供を預けられる学校を
  - 学校選択の自由を推進し、いじめ防止と学力向上を実現します。
  - 自虐史観を排し、愛国心を育む歴史教育を行います。

### 幸福実現党 挑戦しよう、日本。

幸福実現党 公式サイト hr-Party.jp



谷井みほ 公式ブログ <http://mihotanii.blog.fc2.com/>

谷井みほ プロフィール

1962年11月2日生まれ。高校、大学生の2児の母。岩槻市立岩槻小学校/上野学園中学校/上野学園高等学校ピアノ科/東京音楽大学音楽学部卒/公立中学教員歴8年/2009年衆議院選 埼玉14区から立候補/幸福の科学埼玉本部巡回支部長/

詳しくはウェブへ  
フェイスブック  
www.yakura-katsuo.jp  
www.facebook.com/yakura.katsuo  
メルマガを配信しています

### 38歳 国際弁護士

●プロフィール/1975年(昭和50年)生まれ、38歳。東京大学法学部卒業。米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)法学修士課程修了。日本国三三三州弁護士/前経済産業省参事官補佐/公明党青年局長/同日本経済再生推進本部事務局次長/さいたま市で妻と2人暮らし。

公明党 自民党推薦

### 3 「安心・安全」を誇れる日本に

防災・減災対策や医師不足の解消など命を守る政策を推進します。また奨学金制度や低所得者支援などのセーフティネットも拡充します。

- ・地域の防災拠点となる学校の100%耐震化、道路など交通網の老朽化を総点検
- ・遠隔医療の拡充や医師等の勤務環境の改善などで、埼玉最大の課題である医師不足や医療過疎を解消
- ・給付型奨学金の創設、授業料減免や無利子奨学金の拡充

### 2 「日本の底力」で世界に勝つ

日本の底力である中小企業や農業を全面支援します。さらに教育環境の整備でグローバル人材を育成し、世界で勝てる日本を構築します。

- ・中小企業減税特区の創設で、埼玉の中小企業の飛躍を支援
- ・日本の農産品の輸出拡大へ、品目別・国別に農輸出戦略を作成
- ・外国語教育の強化や、産官学が連携した世界最高峰の教育研究拠点作り

### 1 目指すは「実感できる景気回復」

デフレ下の10年間で約10%も減少した平均給与を取り戻すため、経済政策成長戦略を着実に実行し、その恩恵を世帯収入に還元して所得10%アップを図ります。

- ・エネルギー、健康・医療などの成長分野で仕事を創出
- ・待機児童の解消やマザーズ・フッターワークの機能強化など、女性の活躍を応援
- ・インターンシップ制度やトライアル雇用制度で若者の就職を支援

### 矢倉かつお3つの挑戦

## 世界で勝てる日本をつくる

この半年間、自公政権は「経済再生」を最優先課題として迅速かつ着実に景気対策を推進してきました。その効果が今、徐々に現れ始めようとしています。今回の参院選で与党が勝利し、安定した政治のもとで経済政策を継続して実行できれば、「実感できる景気回復」が実現すると確信しています。長引くデフレ・円高で失われた日本の活力を、今こそ取り戻す！



公明党公認 自民党推薦

# 矢倉かつお

## 選挙区選挙は、候補者氏名を書いて投票します。投票用紙は、薄い黄色です。

# 7月21日(日)は投票日

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会

※裏面にも記載があります。

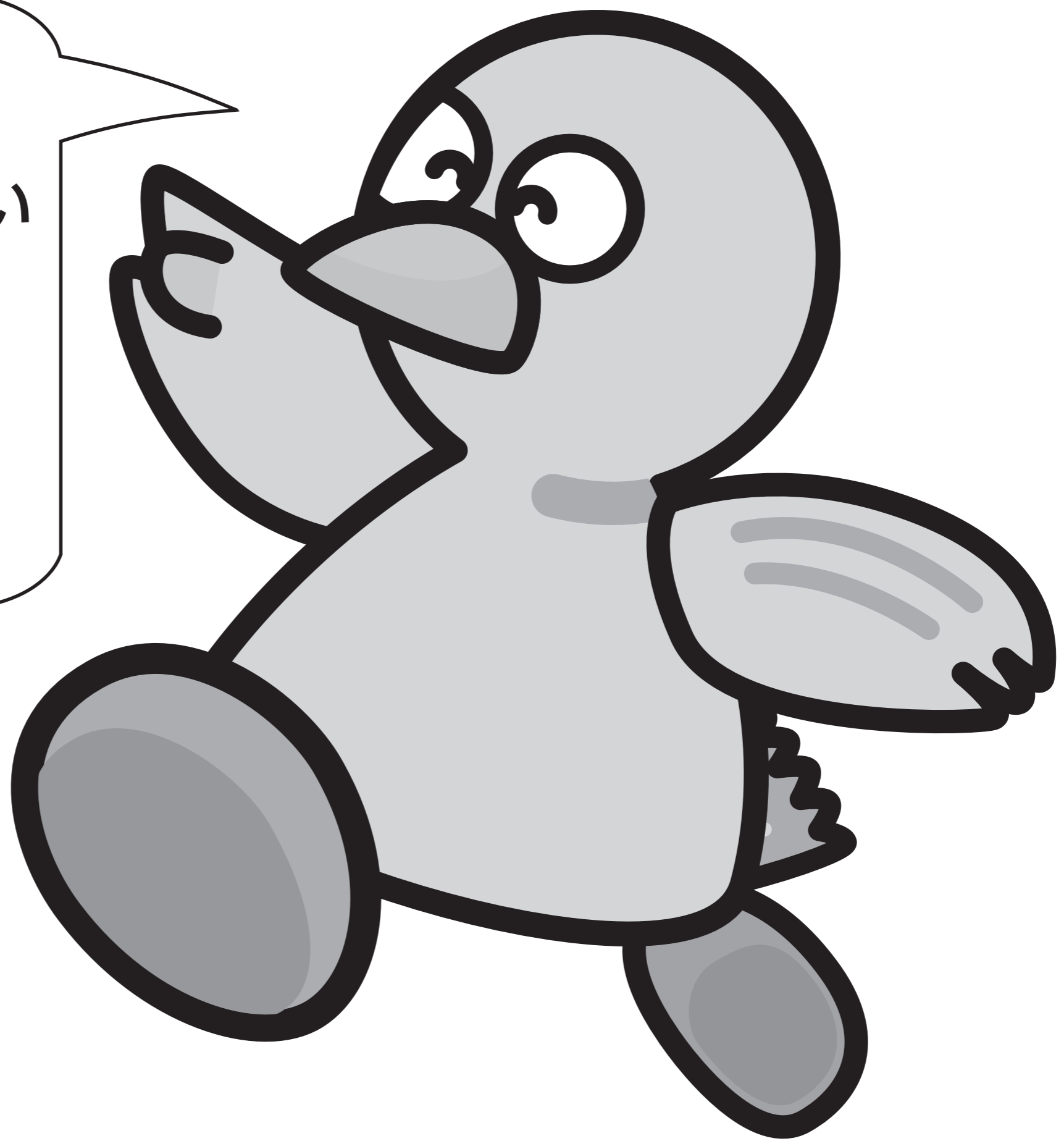
この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。

# 投票日 7月21日(日)

大切にしましょう。  
あなたの一票！

選挙区選挙は、  
候補者氏名を書い  
て投票します。

投票用紙は、  
薄い黄色です。



埼玉県のマスコット コバトン

仕事や旅行などのため投票日に投票所へ行けない方は、投票日より前に投票することができます。詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

期日前投票期間 平成25年7月5日(金)～20日(土)

埼玉県選挙管理委員会